

区分・種別	県指定無形民俗文化財		
名 称	いまばりおよびおちちほうのししまい 今治及び越智地方の獅子舞		
所 在 地	下記表のとおり		
所 有 者		管 理 団 体	下記表のとおり
指定年月日	平成12年4月18日		
解 説	今治・越智地方の各神社の春季祭礼に奉納される獅子舞で、いずれも「継獅子」と呼ばれる立ち芸を特徴としている。 立ち芸は、台の肩に中台が立ち、さらにその上で獅子児と呼ばれる少年が獅子頭を被り曲芸をする。肩に乗る人数で「二継ぎ」とか「三継ぎ」と呼ばれる。立ち芸は、各演目の中でも見応えがあるもので、その舞台も今治市野間神社のように高い石段であったり、大西町九王のように海上に浮かべた獅子舟であったり、伝承されている地区の特徴がでている。また「三継ぎ」が最も一般的であるが、中には「四継ぎ」や「五継ぎ」の難度の高い芸を披露するところもある。 立ち芸以外の舞いでは、油単の中に7～8人が入るムカデ系獅子が基本で「使い込み」「曲」「すりかね」「練り」等の舞い振り方で舞う。また、提婆が笛・扇子・刀の採物を持ち悪魔払いの舞いを舞う「提婆」や二人の若者による組体操のような激しい動きをする「キツネ」の他、「三番叟」「オヤス」「かま払い」「餅つき」等、多くの演目が伝承されている。 獅子舞の由来について、確実なことは分かっていないが、伊勢神宮に伝わる「代々神楽」（二継獅子）の流れを汲み、今から約170年から130年前に今治市鳥生の三嶋神社に伝えられたといわれ、鳥生三嶋神社から今治及び越智地方に広がったとされる。		

保存団体の名称	所在地	保存団体の名称	所在地
島生獅子連中	今治市祇園町	波方青年獅子連中	今治市波方町波方
高部獅子舞保存会	今治市高部	樋口獅子舞保存会	今治市波方町樋口
神宮獅子舞保存会	今治市神宮	小部獅子保存会	今治市波方町小部
矢田獅子舞保存会	今治市矢田	養老獅子保存会	今治市波方町養老
野間獅子連中	今治市野間	脇獅子連	今治市大西町脇
延喜獅子舞保存会	今治市延喜	別府獅子連	今治市大西町別府
宅間部落獅子連合会	今治市宅間	九王獅子連	今治市大西町九王
阿方獅子舞保存会	今治市阿方	多伎獅子舞保存会	今治市古谷
杣田獅子舞保存会	今治市杣田		